

令和6年3月

鍋山地区で令和5年5月から着手しました「つなぐ鍋山安らぎの里づくり実証事業（農村RMO）」につきましては、令和6年3月31日時点で、120名（戸）の皆様に入会をいただきました。

本事業は、令和6年度および7年度も継続して進めていきますので、現在未加入の皆様におかれましても、関心がございましたら是非ご参加いただければと思います。

このたび、令和5年度の実証事業が終了しましたので、1年間を振り返って主な実証実績をお知らせします。

9月20日

つなぐ鍋山安らぎの里づくり事業説明会

躍動鍋山支部長様および自治会長様に、事業の目的や内容を説明し、実証への加入申込についてご案内しました。



10月10日

農村RMO県内実施地区等情報交換会



県内で本事業に取り組まれている7組織が県庁に集い、それぞれの将来ビジョンや取り組み状況について、意見交換を行いました。

【鍋山以外の参加組織】

- ①出雲市佐田町、②大田市久利・大屋地区、③邑南町出羽地区、
- ④浜田市和田地区、⑤大田市池田地区、⑥浜田市今福地区
- ※R6. 3時点 ⑦奥出雲町下阿井

10月19日

産直商品づくり研修会

出雲市のマックスバリュへ野菜等を出荷されている鍋山の生産者のみなさん15名と、斐川町のグリーンセンター、出雲市のラピタ本店、マックスバリュ今市店の産直コーナーを視察しました。また、出雲市民会館にて、『売れる商品づくり』の研修を行いました。



10月22日

『みとやっこまつり』での野菜等販売



アスパルで開催された『みとやっこまつり』で、鍋山地区のとれたて野菜などを出店し、来場された皆様より好評をいただき午前中に完売しました。

11月9日

農村RMO推進フォーラム

岡山県真庭市で『農村RMO・中四国地区推進フォーラム』が開催され、参加19組織がそれぞれの事例紹介を行いました。躍動鍋山はオンライン（参加団体の半数はオンライン）で参加しました。

11月16日

イノシシ対策研修会

イノシシによる農用地や農作物の被害が年々増えており、島根県の鳥獣害対策専門指導員2名の方から、イノシシの習性や被害対策にかかる研修会を開催しました。その後、鍋山地区2カ所（希望のあった殿河内、根波）を現地視察していただき、メッシュや電柵の設置方法や注意点などのアドバイスを受けました。鳥獣害対策は、鍋山地区全体の課題ですので、今後も他地区での研修開催や、イノシシ以外の鳥獣対策の実証に取り組みたいと思います。



11月21日~22日 産直商品づくり研修会

マックスバリュへの産直出荷生産者の方9名と、徳島県で開催された『奥出雲産直振興大会』に参加し、地元の産直市の視察や、他地区の生産者の方と、産直出荷にかかる意見交換を行いました。



11月26日

クロモジ研修会



休耕田、畑や林地を活用した特産品づくりの実証として、クロモジ植栽の研修会を開催しました。
クロモジの特徴や栽培および加工・販売方法などの説明を受け、参加されたみなさんからは、『早速植栽をしたい』とのご意見がありました。

11月28日～30日 **ラジコン草刈機の実証**

草刈作業の労力低減を考慮した、ラジコン草刈機の実証を、鍋山地区3か所(後根波、里坊、加食田郷)で行いました。
草刈機は、水土里ネットしまねから借り、斜面(最大45°)や平地などで、ラジコンの操作性や草刈機の機能性などを確認しました。(イノシシによる多少の荒地もOK!)
実証には20名のみなさんが参加され、実際にラジコンを操作していただき、結構好評でした。



12月6日～7日

竹粉碎機の実証



農地等への竹林侵入対策や、チップ化した竹を活用した農用地の土壌改良への対応として、竹チップ機による実証を鍋山地区2か所(里坊、殿河内)で行いました。
竹チップ機の借入先の方から、操作や使用上の注意点の説明を受け、実際に竹をチップ化してみました。
実証には26名の方が参加され、みなさんより『この機械は是非ほしい』とのご意見がありました。
引き続き、他地区でも同様の実証を行うとともに、チップ化した竹の土壌改良の効果なども検証していきたいと思えます。

12月12日～15日 クロモジ植栽予定地の視察



島根県中山間地域研究センターの専門員とともに、各地区において希望が出されていた植栽候補地の下見を行い、各々候補地を決定した。植栽場所は、成木下津原、里坊畑、里坊郷、深谷の4か所で、それぞれ約40本の苗を植栽することとした。

2月15日 農業「地域計画」作成にかかる説明会

高齢化や人口減少による耕作放棄地の拡大が懸念されるなか、農地の集約化への取り組みが喫緊の課題となっています。

令和5年4月に基盤法等の改正が行われ、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する農業「地域計画」を、地域の話し合いなどにより令和7年3月末までに作成することとなりました。

当日は、雲南市からその主旨や今後の進め方等について説明があり、地区内の中山間地域等直接払及び多面的機能支払交付金事業に取り組まれている組織の代表者および農業団体の関係者が参加されました。鍋山地区は三刀屋町のモデル地区として先行することになっているそうです。



2月16日 竹粉碎機操作説明会



本事業において、農用地周辺に繁茂する竹林の拡大防止策として竹の伐採に合わせて、その竹をチップ（粉）化し、土壌改良剤として活用する実証に取り組むこととしました。チップ（粉）化にあたっては、粉碎機を新たに導入し、地区内の各所で実証を行うこととし、この機械の操作説明会を開催し、24名の方が受講されました。

2月16日～3月31日 竹チップ(粉)化実証

本事業で導入した粉碎機を活用した竹チップ(粉)の実証を、地区内4か所で行いました



3月14日 竹チップ(粉)活用にかかる先進地視察



竹チップ(粉)の活用にかかる実証に先立ち、この事業に先進的に取り組まれている広島県庄原市の「庄原里山の夢ファーム」に、地区内から20名の方が視察に出かけました。夢ファームのお米作りは、里山の整備で伐採した竹を粉末にし、独自の技術で牛堆肥と混合・発酵させ、田んぼに散布されています。この田で作られたお米は、食味日本一と自信をもっておられ、視察帰りに寄った付近の道の駅では、このお米5kgが約5000円で販売されていました。

3月1日～ 山椒苗の植栽

兼ねてより、坂本および里坊地区で栽培されていた山椒の特産品化を目指し、本事業において山椒苗の植栽にかかる実証に取り組みました。本事業では、山椒苗の購入や植栽に使用する重機(バックホー)にかかるレンタルなどの経費の一部を支出しました。



3月19日～

クロモジ苗の植栽



地域の特産品開発に向け、クロモジの植栽の実証に取り組みました。
今回は、クロモジ栽培適した場所の検証も兼ねて、地区内4か所（成木下津原、深谷、里坊郷下、里坊畑）で植栽を行いました。また、植栽作業は労働者協同組合うんなんへの作業委託により実施しました。

本事業では、前記以外に以下の活動にも取り組みました。

【主な内容】

- ・事業事務所の整備（旧鍋山幼稚園舎）
- ・マックスバリュへの地元農産物の集出荷（令和6年4月からは週4日運送）
- ・野菜等保存用冷蔵庫の導入
- ・草刈機、チェーンソーなどの作業用具の導入
- ・葉草（どくだみ、まこも）などの集荷と加工所への出荷支援
- ・売れる産直づくりにかかる各研修会の受講
- ・本事業取り組み組織との情報共有、意見交換会への参加
- ・毎月1回の県、市および関連団体との定例会議の開催



この1年間、多くの皆様に各実証事業にご協力、ご参加をいただき、ありがとうございました。
本事業は、年間1千万円の交付金が3か年交付される予定でしたが、国の予算の関係で、令和6年度は650万円、令和7年度は700万円まで削減されることになりました。
よって、当初計画した実証は内容および規模を見直したうえで、実施することになります。
予算は削減されますが、残り2年間で本事業導入の効果が少しでも発揮されるよう、引き続きご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

